

コミュニケーション英語Ⅱ 学習指導案

鹿児島県立大島高等学校
授業者 教諭 有村 舞, ALT ジュリア・ローリー

1 日 時 平成30年7月10日(火) 6時限目(14:45~15:35)

2 実施クラス 2年4組 37名(男子17名, 女子20名)

3 教科書 NEW ONE WORLD Communication II Revised Edition (教育出版)
Lesson 2 Dogs as Human Companions

4 生徒観

本クラスは全体的に英語への苦手意識を持っている生徒が多いながらも、ほとんどの生徒が将来英語が必要だと考えており、英語を使えるようになりたいと思っている。

4月から毎授業時間の最初に英語での表現活動を取り入れている。間違いを恐れず元氣よく表現したり答えたりするなど、良い雰囲気の中で日々の学習に励んでいる。

5 指導観

「身近なものを英語で伝える」ということを念頭に置き、「日本」や「奄美大島」に焦点を当て、それらを説明する力を身につけるための帯活動を毎時間行っている。

本単元では、ひとつのテーマに対して自分の考えや意見を深め、英語で伝える力を育成するため、ディベートに取り組むことにした。英語で自分の意見を述べたり、説明したりする活動を通して、少しずつ成功体験を重ねることで、英語によるコミュニケーションに自信をつけさせたい。

6 教材観

本単元では、今や単なるペットではなく、家族の一員として受け入れられているイヌに焦点を当て、古代から現代に至るまでのイヌと人間との深い関わりについて取りあげている。非常に身近な存在であるイヌの歴史を知り、さらに現代において、イヌが様々な場面で活躍していることを再認識させることで、イヌの果たす社会的役割を見つめなおす機会にしたい。

7 単元の目標

1. 英文から読み取った情報やそれに基づく自分の意見を相手に積極的に伝えたり、相手の主張を理解しようとしたりしている。(A)
2. 読んだり聞いたりした内容を基に、ある立場で自分の考えを表現できる。(B)
3. イヌと人間の歴史を知り、現代においてイヌの果たす役割について理解できる。(C)
4. 重要表現(比較を使った表現, 形式主語 It など)や新出語を理解する。(D)

8 評価規準

(A) コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	(B) 外国語表現の能力	(C) 外国語理解の能力	(D) 言語・文化についての知 識・理解
① 自分の主張を積極的に相手に伝えようとする。 ② 相手の主張を聞いて理解しようとしている。	① 新出語を使い、英語で書いたり発表したりして、自分の意見を伝えることができる。 ② 理解できなかったところを聞き返し、確認することができる。	① テーマに対する相手の英語での主張を聞いて、それを理解できる。	① 重要表現や新出語を理解している。

9 時間割当

- 1 時限目: 導入(背景知識の提示・本課への興味付け), 概要の確認
- 2 時限目: 内容理解 Part1
- 3 時限目: 内容理解 Part2
- 4 時限目: 内容理解 Part3
- 5,6 時限目: ペアでディベート① “People living in apartments should not have dogs.” (立論・反論)
- 7 時限目: ペアでディベート② “Everybody should have dogs.” (立論) ← 本時
- 8 時限目: ペアでディベート② “Everybody should have dogs.” (反論)

10 本時の目標

1. “Everybody should have dogs.”というテーマに基づき、自分の考えを理由を挙げて順序立てて英語で話す。

1 1 本時の評価規準

1. 自分の主張を相手に積極的に伝えようとしている。(A)①
2. 新出表現や新出語を理解し、それらを自分の主張に取り入れている。(B)①(D)①
3. 相手の主張を理解し、また理解できなかったところは聞き返すことができる。(A)②(C)①(B)②

1 2 本時の展開

時間	学習活動	生徒の活動	指導上の留意点		評価
			JTE	ALT	
10	帯活動 “What a wonderful Amami!” Topic A / B A : Black rabbits B : Habu	○A / B のトピックに関して、パートナー（外国人役）に1分間で説明する ○ペアは説明を聞きながら、何文言えたか数える ○自己評価 ○簡単な振り返り（単語の確認など）	○ペア1組にじゃんけんをさせてA / Bを決める	○生徒の様子を見て、JTEと共に1文でも多く言えるよう促す	
2	本時の目標提示 “Everybody should have dogs.”	本時の目標について確認する	本時の目標を提示する		
8	ブレインストーミング	○賛成 / 反対それぞれの理由をクラス全体で考える ○ペアでじゃんけんをして勝ったら賛成、負けたら反対という立場を決める	○理由を板書する ○できるだけ英語で答えるよう促す	○賛成 / 反対それぞれの理由を生徒に聞く ○できるだけ英語で答えるよう促す	(A)①
15	立論書き	○既習語を使って自分の立場で立論を書く	○既習語を取り入れるよう指示する ○机間巡視をし、個別の指導を行う	机間巡視をし、個別の指導を行う	(B)① (D)①
3	立論発表	○ペアで賛成 / 反対の順に1分間で立論発表をする ○アイコンタクトや声の大きさなどに留意する ○立論を聞いている方は主張のポイントを書き取りながら聞く	○賛成 / 反対の順に1分間で立論発表させる ○発表態度（アイコンタクトや声の大きさなど）に気をつけるよう指示する	クラス内を回り、立論発表をサポートする	(A)①② (B)① (C)①
6	立論のポイントの確認	ペアで賛成 / 反対の順に相手の主張のポイントについてそれぞれ2分間で確認をする	“Please tell me about your first point again.” “My first point is ~” を使うよう促す	クラス内を回り、立論のポイント確認をサポートする	(A)①② (B)①② (C)①
4	相互評価	○ワークシートを交換し、相互評価を行う ○パートナーがブレインストーミングでシェアした理由以外で主張を書いた場合は、☆を黒く塗りつぶす	相互評価を行うよう指示する	クラス内を回り、相互評価の確認をする	
2	次回の確認	ワークシートを提出する	次回(反論発表)の確認をし、ワークシートを回収する		